

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。



2422

G-SHOCK

このたびは、弊社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。
でございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読み
いただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。
本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に
障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使い
こなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■本機の特長

- 太陽電池で充電するソーラーパワー
 - 潜水時間を計測するダイビング機能
 - 世界のダイビングポイント10都市の時刻を表示するサイト機能
 - 個人データをメモリーするID機能
 - 3本のアラーム機能
 - ストップウォッチ機能
 - タイマー機能
 - フルオートELバックライト機能
-

安全上のご注意

絵表示について この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ 危険 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 注意 この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています(左の例は感電注意)。



⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています(左の例は分解禁止)。



●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)。



危険

スキューバダイビング等に使用するとき

必ず安全潜水に関する特別な教育を受けてからご使用ください。

本機は潜水の同伴者(バディ)の代用にはなりません。潜水の際は必ずバディシステムをお守りください。

本機は減圧計算を行なう「ダイビングコンピュータ」ではありません。あくまでも補助用としてご使用ください。

飽和潜水などによるヘリウム雰囲気中で、本機を使用しないでください。



警告

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かないところへ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

ダイビングを始める前に

バッテリーレベルメーターを確認して、電池が十分充電してあることを確認してください。
※なるべくレベル2以上でご使用ください。

ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。



注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとしび易くなります。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



! **注意**

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですとおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

安全上のご注意	1	時刻・カレンダーの合わせ方	31
電源について	6	製品仕様	34
オートスリープ機能	7	ご使用上の注意	35
操作のしくみと表示の見方	8	お手入れについて	37
表示照明用 EL バックライトについて	10	二次電池について	37
ダイビング機能の使い方	12	保証・アフターサービスについて	38
サイト機能の使い方	15	保証規定	45
ID 機能の使い方	20	保証書	裏表紙
アラームの使い方	24	カシオテクノ・サービスステーション	裏表紙
タイマーの使い方	27		
ストップウォッチの使い方	30		

電源について

本機は太陽電池で発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機がかくれたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく日に当たるようにしてお使いください。

■ 電池容量インジケータの見方

レベル1		通常動作可能
レベル2		通常動作可能
レベル3		通常動作可能
レベル4	CHARGE	アラーム・時報の報音不可 EL点灯不可、液晶表示不可 ※レベル5から充電した場合は、表示が点灯します。
レベル5		時計発信不可（時計機能停止）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、電池容量インジケータが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。

※レベル4では、アラーム・時報がONでも報音しませんし、表示はCHARGEマークのみ点滅します。

※レベル5になっても、充電を開始すると再び使えるようになりますが、表示回復後に時刻・カレンダーを合わせてください。

● CHARGEマークについて

CHARGEマークが点滅しているときは、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。

● RECOVERマークが点灯している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、RECOVERマークが点灯して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- ELバックライトの点灯
- アラーム・時報などの報音



RECOVERマーク

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

※連続使用回数の目安
ライト：約200回まで アラーム：約360回まで

オートスリープ機能

■ 充電時のご注意

以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボードの上
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たったり、高温になる所



充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

● 充電の目安

例) 毎日、バックライトを約2秒間、アラームを20秒間使用する場合。

- 一週間に一度、平均36,000ルクス下（昼間の屋外）で約50分充電。
- 一日あたり、平均3,000ルクス下（蛍光灯直下）で、約1時間15分充電。
- 一日あたり、平均500ルクス下（蛍光灯による室内光）で、約8時間充電。

オートスリープ機能とは、暗いところで何もボタン操作をしないで7~8日間放置すると、自動的に表示を消して節電する機能です。

このオートスリープ機能はオン/オフすることができます（操作方法については32ページをご覧ください）。

※電池の充電レベルが4の場合は、スリープしません。

● スリープ状態では

- ストップウォッチ、タイマー、ダイビング計測中にスリープ状態に入った場合は、表示は消えますが内部では計測を続けています。
- アラーム・時報の電子音は鳴りません。
- オートライト機能がオンのときに本機を傾けても、バックライトは点灯しません。

● スリープ状態を解除するには

本機を明るい場所に出すか、いずれかのボタンを押します。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると暗いときに文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる

～手動発光～

どのモードのときでも、

ⓐ ボタンを押します

⇒ ⓐ ボタンを押すと約 2 秒間文字板が発光します。

※セット中（点滅表示中）は ⓐ ボタンを押しても発光しません。



※オートライト OFF のときも ⓐ ボタンを押すと発光します。

※「スリープ状態」のときは ⓐ ボタンを押してもライト点灯を行いません。

■ 時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

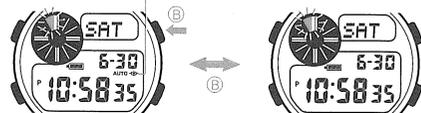
オートライトは、ボタンを押さなくても暗いときに時計を傾けるだけで文字板が発光する便利なフルオートライト機能です。

※明るいときは、自動発光しません。

暗い場所で時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾けるだけで文字板が約 2 秒間発光します。

準備：時刻・カレンダーモードのとき ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けて、オートライト ON (AUTO → 点灯) にします。

オートライト ON マーク



<オートライト作動します>

<オートライト作動しません>

※オートライト ON のとき、ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けるとオートライト OFF (AUTO → 不点灯) に戻ります。

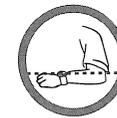
※オートライト ON/OFF 設定は、時刻・カレンダーモードのときのみ行なえます。

● 文字板を発光させる



※オートライト機能を使用するときは、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



< EL 発光についてのご注意 >

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

< オートライトご使用時の注意 >

- オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください（34 ページ「製品仕様」参照）。
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしておいても、発光は約 2 秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ず OFF にしておいてください。
- 時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトを OFF にしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。
- ダイビング中など姿勢によってはオートライトが動作しにくい場合があります。

ダイビング機能の使い方

ダイビング機能は計測した潜水時間と潜水開始時刻をメモリーします（ただし、次の計測を終了させると、前回データは上書きされます）。

また、潜水時間の計測を終了させると、自動的にインターバルタイム（水面休息時間）の計測を行いません。

■ 表示の見方

<リセット表示>



<計測表示>



● グラフ表示

点滅し、5分ごとに点灯します。

■ 計測単位および計測範囲

● 潜水時間

計測単位 = 1 秒
計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒（24 時間）

● インターバルタイム

計測単位 = 1 分
計測範囲 = 23 時間 59 分（24 時間）
※ 24 時間以降は表示しません。

<インターバルタイムについて>

インターバルタイムは、潜水時間の計測をストップさせてから次の潜水時間の計測をスタートするまでの経過時間です。

※インターバルタイムは、時刻モードで◎ ボタンを押している間表示されます。

ダイビングモードに切り替えるには、いずれかのモードで◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます。
時刻モードに戻すには、もう一度◎ ボタンを約 1 秒間押し続けます。



■ 計測のしかた



● スタート

◎ ボタンを押すと、潜水時間計測がスタートします。

● ストップ

潜水時間計測中に◎ ボタンを約 1 秒間押し続けると、ストップします。

● リセット

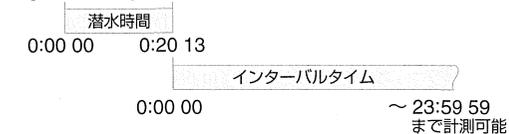
潜水時間計測がストップ中に(A) ボタンを押すと、リセット表示に戻ります。

※計測ストップ中に◎ ボタンを約 1 秒間押し続けて時刻モードに戻ったときもリセットされます。

計測例)

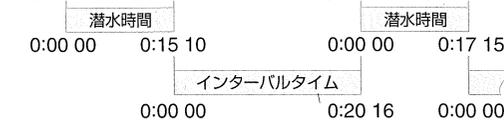
● 潜水を 1 回で終了する場合

◎スタート ◎ストップ



● 休息後、もう 1 回潜水する場合

1回目 ◎スタート ◎ストップ 2回目 ◎スタート ◎ストップ



※注意 連続してダイビングモードで再スタートさせた場合、2回目の潜水時間は前回からの続きとなります。

■ ログデータを見る

時刻モードで①ボタンを押している間、前回の潜水開始時刻、潜水時間、インターバルタイムを表示します。



※メモリーできるログデータは1セットで、新たにメモリーさせた場合は、前回のメモリーを消去して最新データのみメモリーします。

■ ログデータの消去

時刻モードで①ボタンを押したまま、②ボタンを押します。



■ ご注意

●計測中ストップせずに③ボタンを約1秒間押し続けると、時刻モードに戻りますが、内部では潜水時間の計測は続けられています。このとき、潜水時間、潜水開始時刻データはまだメモリーされていません。

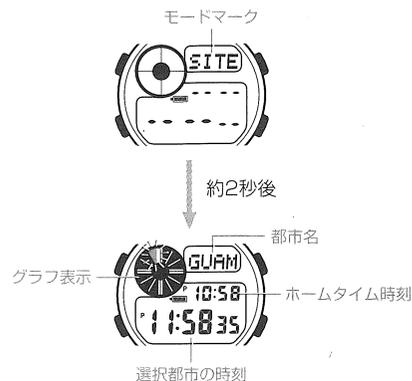
※前回データを表示しますが、インターバルタイムは表示しません。

■ サイト機能の使い方

サイト機能は、ダイビングスポットである世界10箇所の時刻をワンタッチで知ることができます。なお、10箇所の都市名と時差は任意に変更できます。

■ 表示の見方

サイトモードに切り替えると、モードマークを表示後、前回のモードで最後に見た都市の標準時を表示します。



■ 都市のサーチ



①ボタンを押すごとに、都市名と選択都市の時刻を表示します。

※都市名が5文字以上の場合はスクロール表示します。

★サイトモードでボタン操作をしないと、1～2時間後自動的に時刻モードに戻ります。

サイトモードで表示される時刻は、時刻モードで表示される時刻に連動しています。時刻があっていないときは、31ページをご覧ください。時刻とホームタイム設定を修正してください。

サイトモードに切り替えるには、時刻モードのときに **ⓐ** ボタンを 1 回押しします。



●プリセット都市一覧表

都市名		時差	位置
CAYMAN	ケイマン	-5.0	カリブ海
GALAPAGOS	ガラパゴス	-6.0	太平洋東部
GBR	グレートバリアリーフ	10.0	オーストラリア北東部珊瑚礁
GUAM	グアム	10.0	太平洋西部
HAWAII	ハワイ	-10.0	太平洋中部
JAPAN	日本	9.0	太平洋西部
MAURITIUS	モーリシャス	4.0	インド洋西部
MALDIVES	モルディブ	5.0	インド洋北部
RED SEA	紅海	2.0	紅海
TAHITI	タヒチ	-10.0	太平洋南部

■サマータイムの設定／解除

サマータイムは各都市ごとに設定できます。

サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

1. セット状態にする

ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

⇒都市名の 1 桁目が点滅します。



2. サマータイム設定に切り替える

ⓐ ボタンを 14 回押しします

⇒DST と表示し、On または OFF が点滅します。
※都市名 14 文字分を送ります。



3. 設定または解除する

ⓐ ボタンを押します

⇒On : 設定
OFF : 解除



4. セットを終わる

ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まります。

★サマータイムの設定／解除で表示を点滅させたままボタン操作をしないと、2～3分後自動的にサイトモードの表示に戻ります。

■ 都市の変更

あらかじめセットしてある都市名とグリニッジ標準時 (GMT) との時差を変更して、好きな都市に変更できます。

例) GUAM (+10.0) を HONGKONG (+8.0) に変更する。

7. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押し続けます

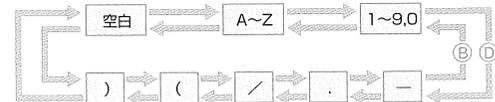
→ 都市名の 1 桁目が点滅します。



2. 都市名を入力する

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

→ Ⓓ : 進む
 Ⓔ : 戻る
 ※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



3. 入力桁を送る

Ⓒ ボタンを押します

→ 点滅桁が右に移動します。
 ※ 都市名は 14 文字まで入力できます。



Ⓓ または Ⓔ ボタンで入力したい文字を表示させ、Ⓒ ボタンで場所 (桁) を選んで都市名を入力します。
 ※ 不要な文字を消すときは、Ⓓ または Ⓔ ボタンを押して空白を選びます。

4. サマータイム設定に切り替える

Ⓒ ボタンを何回か押します

→ 都市名が入力できる 14 桁分を送ると、DST と表示し、On または OFF が点滅します。



5. 設定または解除する

Ⓓ ボタンを押します

→ On : 設定
 OFF : 解除



6. 時差セットに切り替える

Ⓒ ボタンを押します

→ GMT (グリニッジ標準時) との時差が点滅します。



7. 時差を入力する

Ⓓ または Ⓔ ボタンを押します

→ Ⓓ : 進む
 Ⓔ : 戻る
 ※ 時差は -11.0 ~ +14.0 (DST が On のときは -10.0 ~ +15.0) 時間まで、0.5 時間ごとに入力できます。
 ※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りができます。



8. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。



★ 都市の変更で表示を点滅させたままボタン操作をしないと、2~3 分後自動的にサイトモードの表示に戻ります。

< 都市の変更ができないときは >

Ⓐ ボタンを約 1 秒間押ししても「HOME」と表示して点滅しないときは、その都市が時刻モードのホームタイムになっています。
 このようなときは、他の都市を選ぶか、時刻モードでホームタイムを他の都市に設定するかしてください。
 ※ 時刻のセットについては、31 ページをご覧ください。

ID 機能の使い方

ID 機能は、C カード、パスポート、血液型を記憶できます。

■ 表示の見方

ID モードに切り替えると、まず C カードを表示します。



- 項目名を表示後、入力されている名称と番号を表示します。
- 項目名、名称とも 5 文字以上のときは右から左に流れる「スクロール表示」となります。
- データ表示中は、項目名と名称を交互に表示します。
- C カード、パスポートは名称 16 文字、数字 10 桁が記憶できます。
- 血液型は ABO 式と RH 式が記憶できます。

ご注意

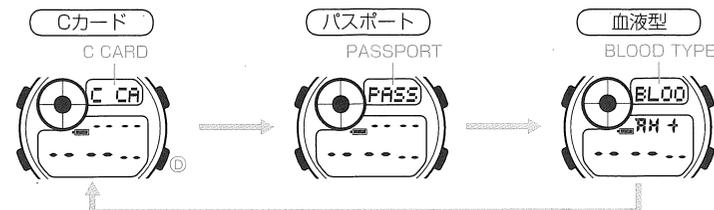
ID 機能には、ご自分のデータのみを入力してください。
また、ご自分のデータを入れた本機を他人に貸したり、紛失、盗難されたりすると、大切な番号を悪用されるおそれがありますので、本機の取り扱いには十分にご注意ください。
万一、本機にお客様ご自身が登録した番号により発生した損害等については、当社ではいっさい責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

ID モードに切り替えるには、時刻モードのときに © ボタンを 2 回押します。



■ データのサーチ

ID モードで © ボタンを押すことに、以下の順にデータを表示します。



★ID モードでボタン操作をしないと、1～2 時間後自動的に時刻モードに戻ります。

アラームの使い方

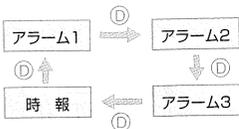
アラームは1分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。アラームは3本あり、いずれも同じ使い方ができます。また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 押すごとにアラームと時報が以下の順で切り替わります。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

⇒ 時が点滅し、アラームオンマーク「|||||」が点灯します。



3. 点滅箇所をセットする

Ⓐ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓐ : 進む
Ⓑ : 戻る



- 点滅箇所が Ⓐ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
- ※ Ⓐ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
- 時のセットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。
- 時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

アラームモードに切り替えるには、時刻モードのときに Ⓒ ボタンを3回押します。



4. 入力箇所を切り替える

Ⓒ ボタンを押します

⇒ 分が点滅します。



5. 点滅箇所をセットする

Ⓐ または Ⓑ ボタンを押します

⇒ Ⓐ : 進む
Ⓑ : 戻る



6. アラームのオン/オフ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ "ON" (または "OFF") が点滅します。



7. オンまたはオフを選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

⇒ "OFF" のときは、アラームオンマークが消えます。



8. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

⇒ 点滅が止まります。



★アラーム時刻のセットで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

■アラーム・時報のオン/オフ

- アラームモードで④ボタンを押して、オン/オフしたいアラーム表示または時報表示を選びます。
- ①ボタンを約1秒間押し続けて、セット状態にします。
- ③ボタンを押して"ON"または"OFF"を点滅させます。
- ④ボタンを押すごとにアラームオンマーク"|||||"または時報オンマーク"△"が点灯/不点灯して、オン/オフが切り替わります。



- 鳴っているアラームを止めるにはいずれかのボタンを押します。

●デモアラーム

アラームモードで④ボタンを押し続けると、押しの間、アラーム音が鳴ります。

タイマーの使い方

タイマーは秒単位で24時間までセットでき、セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。また、タイムアップ後も自動的に計測を繰り返すオートリピートタイマーとしても使えます。

タイマーモードに切り替えるには、時刻モードのときに③ボタンを4回押します。



■計測のしかた

- ④ボタンを押すごとにスタート/ストップします。
 - 計測がストップしているときに①ボタンを押すと、計測前の時間に戻ります（リセット）。
- ※ロスタイムがあるときは、計測中に④ボタンを押してストップ後、もう一度④ボタンを押します。



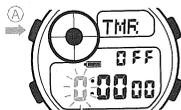
計測中、グラフ表示はごとに消灯します。

点滅し、5分

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます



⇒ 時が点滅します。

2. 点滅箇所をセットする

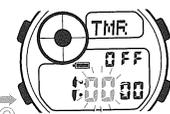
ⓐ ボタンを押します



⇒ ⓐ : 進む
※押し続けると早送りができます。

3. 入力箇所を切り替える

ⓐ ボタンを押します



⇒ ⓐ ボタンを押すごとに点滅箇所(セット箇所)が以下の順に移動します。



ⓐ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、ⓐ ボタンを押してセットする操作を繰り返し、セットしてください。

※24時間をセットするときは"0:00 00"に合わせます。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します



⇒ 点滅が止まります。

★タイマー時間のセットで、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

■ タイマー方法を選ぶ

● **リピートタイマー** ~ (繰り返し計測) ~
タイムアップすると計測が止まります。約10秒後にセット時間表示に戻ります。

● **オートリピートタイマー** ~ (自動繰り返し計測) ~
タイムアップしても、ストップするまで自動的に同じ時間を繰り返し計測します。

● タイマーモードで Ⓐ ボタンを約1秒間押し、セット状態(点滅表示)にします。

● ⓐ ボタンを押すごとにリピートタイマー("OFF"が点灯) / オートリピートタイマー("AUTO"が点灯)が切り替わります。

オートリピートマーク

※オートリピートタイマーでセット時間が10秒以内のときは、タイムアップ音は1秒間だけ鳴ります。



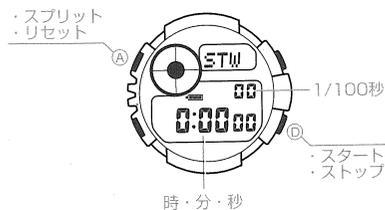
● 鳴っている電子音を止めるにはいずれかのボタンを押します。

ストップウォッチの使い方

ストップウォッチは1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後、自動的に0に戻って計測を続けます。

計測のしかた

- ① ボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
- 計測がストップしているときに② ボタンを押すと0時間00分00秒00(リセット表示)になります。
- 計測中に③ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続けるスプリットタイム(途中経過時間)計測となります。

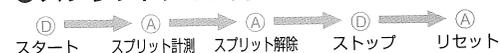


● 通常の計測



積算計測…
ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに② ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

● スプリットタイム計測



● 1着・2着同時計測



時刻・カレンダーの合わせ方

時刻・カレンダー合わせは、時刻モードで行ないます。

秒の合わせ方 ~30秒以内の遅れ/進みの修正~

1. セット状態にする

② ボタンを約1秒間押し続けます



→秒が点滅します。

2. 秒を合わせる

時報に合わせて

③ ボタンを押します



3. セットを終わる

② ボタンを押します

→点滅が止まります。



★秒合わせのときに、表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

秒が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。
※時報は「時報サービス 電話117番」が便利です。

■ 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約1秒間押し続けます

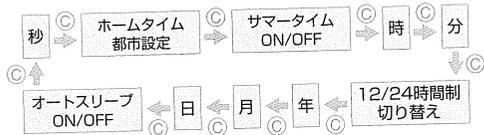


→秒が点滅します。

2. 入力箇所を切り替える

Ⓒ ボタンを押します

→押すごとに点滅箇所(セット箇所)が以下の順に移動します。



3. セットする

ⒹまたはⒺボタンを押します



- 「ホームタイム都市設定」「時」「分」「年」「月」「日」のときは、Ⓓ ボタンを押すと1つずつ進み、Ⓔ ボタンを押すと1つずつ戻ります。
※ Ⓓ・Ⓔ ボタンとも、押し続けると早送りができます。
※ ホームタイム設定のときの都市名については、16ページのプリセット都市一覧表をご覧ください。
- 「サマータイムのON/OFF」「12/24時間制切り替え」「オートスリープのON/OFF」のときは、Ⓓ ボタンを押して切り替えます。
- 「時」のセットのとき、午前/午後(P)および24時間制表示にご注意ください。
- 曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

Ⓒ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、
Ⓓ・Ⓔ ボタンを押してセットする操作を繰り返し、
セットしてください。

4. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

→点滅が止まります。



- 「年」は西暦で2000～2039年までセットできます。
- カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は修正不要です。

★時刻・カレンダーのセットで、表示を点滅させたまま2～3分すると、自動的に点滅が止まります。

ご注意

サイトモードで都市名と時差の変更ができないときは、時刻・カレンダー合わせでホームタイム設定がされている都市です。
このホームタイム設定がされている都市を変更するときは、一度ホームタイム設定を他の都市に変えてから、都市名と時差を変更してください。

製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz

精度: 平均月差±15秒以内

基本機能: 月・日・曜日・時・分・秒・午後(P)
フルオートカレンダー(2000~2039年)

ダイビング機能: 潜水時間
計測単位=1秒
計測範囲=23時間59分59秒(24時間)
インターバルタイム
計測単位=1分
計測範囲=23時間59分(24時間)
ログメモリー1本(潜水開始時刻、
潜水時間、インターバルタイム)

サイト機能: プリセット都市=10箇所
都市名・時差の変更機能付

ID機能: Cカード、パスポートは名称16文字、
数字10桁をメモリー
血液型はABO式とRH式をメモリー

アラーム機能: セット単位=分 電子音=20秒間
時報 毎正時に2回電子音で報時

タイマー機能: 計測単位=1/10秒 計測範囲=24時間
セット単位=1秒
タイムアップ電子音=10秒間
通常計測、ロスタイム計測、
リピート計測/オートリピート計測

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒
計測範囲=23時間59分59秒99
(24時間計)

通常計測、積算計測、スプリット計測、
1・2着同時計測

セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、
秒合わせ機能(±30秒アジャスト)、
アラームセット機能、タイマーセット機能

その他: 自動復帰機能、モニターアラーム、
12/24時間制表示切替、
ELバックライト、ELオートライト、
オートスリープ機能

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、
ワンチップCMOS-LSI

使用電池: 二次電池

持続時間: 例1) 光を当てないで、1日あたり電子音
を20秒間、ライトを2秒間使用し
た場合
…フル充電からレベル4になるまで
約5ヶ月

例2) 光を当てないで、電子音およびライ
トを2秒間使用しない場合
…フル充電からレベル4になるまで
約6ヶ月

ご使用上の注意

■防水性

- 水深200m(20気圧)相当の圧力に耐えます。スキンドビング、スキューバダイビング等にご使用になれます。
- 水中でのボタン操作を行っても、本機の性能に支障はありません。
- 防水性を保つために、必ず定期的(2年に1回)なパッキン交換を行なってください。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げのお店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください(特殊な工具を必要とします)。

■潜水前のご注意

- バッテリーレベルメーターを確認して、電池が十分充電してあることを確認してください。
※なるべくレベル2以上でご使用ください。
- ダイビング中は、極端にライトを使用しないでください。極端にライトを使用した場合は動作保護のためにライトが点灯せず、音が鳴らなくなります。
- 時刻が正確にセットされているかを確認してください。
- ガラスやケース、バンドなどにヒビや破損などの異常がないか、また、バンドが確実に固定されているかを確認してください。

■潜水中のご注意

- 岩などにぶつけないようにご注意ください。

■潜水後のお手入れ

- 海水や汚水を真水でよく洗い落とし、よくふいて乾かしてください。サビなどが出ないようにご注意ください。
※一晩、真水に浸して塩抜きすることをお勧めします。

■バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

■温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。
- +60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

- 腕につけたままでもトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままでも激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁気

- 本機の性能には磁気による影響はありませんが、長期の使用により本機自体が磁気を帯びるおそれがあります。もし、本機自体が磁気を帯びた場合は、水中コンパスの精度に影響をおよぼしますので、水中コンパスを本機から離してご使用ください。
- 本機自体が磁気を帯びたり、強い磁気を発するものの近くで本機を使用すると、オートライトが作動しにくくなる場合があります。

■薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間で利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
 - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - ※汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
 - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
 - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
 - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

二次電池について

- 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると、時計の破損の原因になります。
- 二次電池はソーラーセルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなる場合があります。その場合は、お買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションにご相談ください。